

# 根来山げんきの森倶楽部

令和6年11月作業日誌

活動日：令和6年11月17日(日) 9:30～15:00 天気：晴れ 倶楽部員：46人

ついこの前まで、夏の暑さを引きずっていた今年の秋は12月に入ったところから一転して冷え込みが厳しくなりましたね。インフルエンザも流行の兆し。皆様体調に気を付けて新年をお迎えください。

11月の作業はスターバックスさんから13名、神戸の萩原珈琲さんから7名がお手伝いに来てくれました。おかげで作業は順調にはかどり、昼食時にはあたたかいお味噌汁で交流を深めました。

## うるし谷整備

うるし谷は午前6人、午後3人で活動しました。Hさんには午前から午後の終了まで一人で草刈り作業をしてもらい、下の方から最上部までずいぶんきれいにしてもらいました。

うるし谷は毎日のようにイノシシが現れ、あたり一面荒らしまわっています。木、竹の廃材、小枝など集めている集積場はかっこうのエサ場になります。今日は集積場を片づけ、杭を2本打ってあまり散らばらないようにしました。

休憩時にはNさんの奥様が手づくりのお菓子を毎月のように差し入れてくれます。それを美味しく頂いて後半の作業に入りました。

うるし谷には階段が数か所あります。これが古くなって崩れていた場所があったので新しい横木を入れて杭を打ち直しました。

また、竹も10種類ほど移植していますが、風で倒れていたのでもここにも杭を打ちロープで引っ張って真っすぐに立てました。

最後はイノシシに荒らされた場所を整理して本日の作業は終了しました。(山口 俣)



つつい掘っちゃいます…  
だって、イノシシだもの…





# 巣箱かけ



ファミリー向け物件入居者募集中！  
(鳥に餌ります)

メンバー：リーダー | 記録M 取り付けMjr 専用道具M 梯子T

先月外した鳥の巣箱を、だいたい元あった場所に取り付ける作業です。

寄贈して頂いた2個も含めて、全部で32個の巣箱を、建物に7個、通路に25個取り付けました。軽トラに巣箱と一本梯子と専用道具の巣箱持ち上げ棒とインパクトドライバーを積んで出発しました。

作業は一本梯子を取り付ける木にて立て掛けて、巣箱の上下にとうしてあるシュロ縄を木にくくりつけて固定します。始めの一本目は通路にはみ出している枝を整理しながら進めていたのですが、時間がかかる為2本目以降は枝のカットは最低限にして、目標であった2時までにし作業を終わらせる事が出来ました。偏にMjrの作業対応能力のおかげだと思います。

(田屋和之)



## 味噌汁作り

本日の味噌汁班はスターバックスさんから三名、いつもの味噌汁名人二名、筆者でした。

材料は、Sさん自慢のお野菜さんたち(ごぼう、大根、人参、白菜)、Hさん宅のさつまいも、スーパーで仕入れた材料たち(こんにゃく、ちくわ、おあげ)。もちろん、主役の豚肉さんも。(おそらくバラ?)

最近、急激に寒くなってまいりました。体調に気をつけて、作業後は体にやさしい味噌汁を飲んで体を温めてくださいね♪

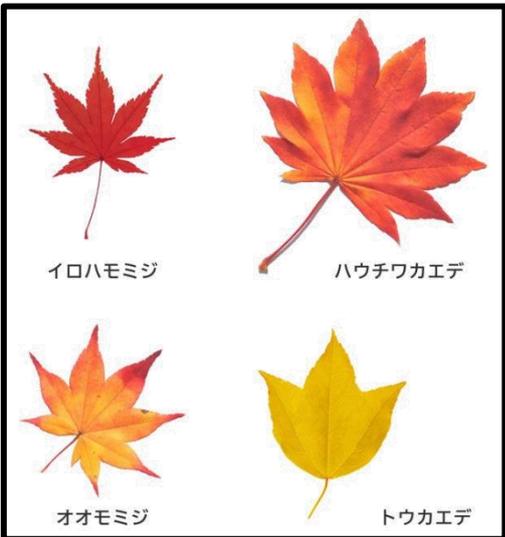
(宮芝栞里)

## げんきの森ペディア

～もみじとかえで～ ムクロジ科カエデ属  
もみじとかえでは、植物学上は同じ植物です。

「かえで」の語源は、葉の形が蛙の手に似ていることから、「蛙手(かえるで)」が転じて「かえで」、一方「もみじ」は、古代の人々が草木の葉が赤や黄色に変わる様子を「もみづ」と表現したことが転じて「もみじ」と呼ぶようになったと言われています。

染料が染み出すように、草木が色づいた様子を「もみぢ」と言うようになり、「かえで」の中でも特に鮮やかに色を変えるものを「紅葉(もみじ)」と呼ぶようになったそうです。



## 里山整備

活動日は曇り空でしたが、前日より暖かい日となりました。げんきの森の入り口から少し下った土仏線沿いの茂ったカシやヤマモモの伐採作業が本日の作業内容です。これを倶楽部員9名と、里山整備体験に参加してくれたスターバックスの店長、副店長7名で行いました。土仏線の法面に植わっているカシをチェーンソーで伐採し、ロープやワイヤーを使って道路上へ引き上げ、処理していきます。スターバックスのメンバーは主に木挽を使って炭材用の長さ 1.2m サイズでカットし、細い枝葉を切っていきます。

その後、炭材用にカットした木材は林内作業車で炭焼き小屋へ搬入し、根本の太い部分は薪用として、そして細い枝葉は軽トラックに乗せ、森の広場へ搬入しました。

細い枝葉は後日チップカーで粉碎処理してカブトムシ用のチップにする予定です。

昼食時にはコーヒーが振舞われ、食後のおいしい一杯をいただきました。（大田和康規）



← Tall サイズを

Short サイズに！ ↑ →

## 炭出し



本日の作業は助っ人がたくさん来てくれました。そのおかげで窯からの炭出し作業と次回炭焼き用の炭材詰め作業が2つとも午前中にできてしまいました。いつもならどちらの作業も一日かかります。

今日来ていただいたのは神戸で炭火焙煎をされている萩原珈琲さん。先日よりげんきの森の炭を使っていただいています。今日は7名の方が来られて炭出し作業、炭を約 10 センチにノギリで切って袋に入れる作業、炭材の約 120 センチの重たいコナラを一輪車にいっぱい載せて窯まで運ぶ作業などを手伝っていただきました。

げんきの森倶楽部員も 10 名ほどの参加でしたので総勢 20 名近い大勢での作業がとてもはかどりました。

萩原珈琲の皆さん、倶楽部員の皆さん、お疲れ様でした。今日窯に詰めた炭材は今週後半に炭焼きします。12 月の定例活動日は今年最後の炭出し作業になる予定です。（堀田 正二）

## 歩道整備

今年は大きな台風は来ませんでしたが、そこそこ雨が降れば遊歩道が荒れるのは避けられませんね。その修復を今日も続けます。

森の広場あたりから南側に入り、法面の崩れたところを補修します。山側は崩れた土砂を取り除き、イノシシが駆け上がってまた崩されないように、できるだけ地面に垂直に削ります。谷側にも崩れて危険なところがあれば横木を置き、動かないよう杭で固定し、大きめの石で隙間を埋めて土砂が流れるのを防ぐように整えます。先月は杭が足りなくなるほど直すべき場所がたくさんあり、テラーが安全に通れるようになってから次の作業場所に進む、という少しずつの前進でしたが、その甲斐あって今回は一気に奥まで入ることができます。掘り出せないほど大きな石の頭が突き出た付近は、それを避けて通る雨水で土が流され、一層凹凸が激しくなっていますので、砂利の入った土嚢で抉れた部分を埋め、さらに土で隙間を平らにします。テラーの荷台にかなりたくさん積んできた土嚢ですが、相当な勢いでなくなっていくます。それだけ直す場所がたくさんあるということです。

外にいるのが心地よい季節になったせい、作業中に多くのお客さんが通りかかります。「訪れる人々が安全に気持ちよく過ごせる里山は、クラブ員の皆さんのまさに“地道”な活動の積み重ねで保たれてきたんだなあ。」と実感しながらの作業でした。

(楠 正暢)



今年、げんきの森倶楽部は公園の指定管理最後の年でした。そのため9月、来年度からの指定管理者となるための計画を作成し県に提出。10月には選定委員会のヒアリングと採点があって、11月に無事到来年度からの指定管理者としての内報がありました。今までの指定管理期間は3年でしたが、来年からは5年間になります。

さて、いよいよ年の瀬。「瀬」とは川の流れのはやい場所でそこを渡り切るのはよほどの困難を伴います。江戸の庶民がお店の付けを払いきれずに「年」という大きな川を渡り切れない様子を例えて年末のことを年の瀬と言いだしたようです。

私たちは余裕をもってゆったりと年を越えられるでしょうか。今年はいよいよ最後の活動日を残すのみ。気持ちよく年を越すために、みんなでいい汗をかきましょう。

来年もいい年でありますように。(岡田 和久)